

## 日本医学会分科会活動報告

一般社団法人日本糖尿病学会  
理事長 植木 浩二郎

I. 医学および医療の水準の向上への貢献が日本医学会分科会にふさわしいと考えられる貴学会の独自の活動を以下に留意して記載をしてください。

a. 特に学術的に重要と考えられるもの

- 以下の糖尿病に関する調査及び研究を実施している。解析を終えた結果については学会発表または論文として報告した。  
①糖尿病関連検査の標準化に関する調査検討②アンケート調査による日本人糖尿病の死因に関する研究③糖尿病治療に関連した重症低血糖の調査④膵・膵島移植に関する調査研究⑤インクレチン薬治療のヒト膵腫瘍発生リスクに関する臨床病理学的研究⑥食事療法に関する研究⑦診療録直結型全国糖尿病データベース事業 (J-DREAMS) ⑧1型糖尿病の成因・病態に関する調査研究⑨単一遺伝子異常による糖尿病の実態解明と診療指針の作成⑩我が国における1型糖尿病の実態の解析に基づく適正治療の開発に関する研究⑪2型糖尿病に対する厳格な多因子介入が血管合併症と生命予後に及ぼす長期的な影響の検討 (J-DOIT3) ⑫インスリン抵抗症の疾患分類と診断基準策定⑬JDCP Study

b. 当該領域における国際的な役割

- 国際糖尿病連合 (IDF) に加盟し、本学会理事が西太平洋地域 (WPR) Executive Committee の Chair や Chair-Elect として継続的に中枢的役割を果たしている。
- アジア地域の糖尿病学会の連合体であるアジア糖尿病学会 (AASD) の設立 (2009 年) に本学会が主導的役割を果たし、現在も本学会会員が運営の中核を担っている。
- ヨーロッパ糖尿病学会 (EASD) と合同で毎年 East-West Forum を定期開催し、日欧交換留学プログラムを実施している。

c. 活動からもたらされる社会的な意義

- 糖尿病患者向け指導書、医師および医療スタッフ向け指導書を多数刊行し、糖尿病診療の質の向上を図っている。最新版の診療ガイドライン (糖尿病診療ガイドライン 2019) については全編 PDF を無償で一般公開し、ダウンロード可能としている。
- 日本医師会、日本糖尿病協会、日本歯科医師会と共同で幹事団体として「日本糖尿病対策推進会議」を運営し、地域連携を通じた糖尿病対策の推進を図っている。
- 日本病態栄養学会、日本糖尿病教育・看護学会と合同で日本糖尿病療養指導士認定機構を設立し (2000 年)、糖尿病療養指導について豊富な知識と経験を有する医療スタッフの資格認定と育成を推進している。

- 2011年の東日本大震災を契機に、2016年熊本地震等、大規模災害発生時に即時の情報収集を行い、糖尿病患者および糖尿病診療に関わる医療者を支援している。
- 国民に対し糖尿病と健康への関心を高める啓発活動として、11月に「全国糖尿病週間」を日本糖尿病協会と共催し、世界糖尿病デー関連イベントを後援している。
- 2020年に「糖尿病治療の目標」として「健康な人と変わらない人生」を掲げ、合併症予防により達成する「健康な人と変わらない寿命の確保」に加え、「高齢化などで増加する併存症の予防・管理」「stigma、社会的不利益、いわれない差別の除去」を追記した。スティグマ克服のため2019年日本糖尿病協会と合同でアドボカシー委員会を設置し、2019年11月14日世界糖尿病デーに意見広告を全国紙に掲載した。

#### d. 学会運営上留意している点

- 糖尿病研究ならびに医療が抱える現在の課題を明確にし、将来目標を設定するため、「対糖尿病戦略5ヵ年計画」を定期的に策定している。2020年に第4次対糖尿病戦略5ヵ年計画を学会ホームページに掲載し、会員に配布した。
- 糖尿病学および糖尿病医療に様々な立場で携わる医療人のキャリア形成を支援し、委員会を設置してダイバーシティの拡充を目指している。
- 医師会員や専門医における女性の割合が高く（各30.8%、32.6%）、年次学術集会の座長等が男性に偏る傾向の回避に努めている。学会賞として女性研究者賞を新設した。
- 幅広い職種による医学研究の推進を目的に、2017年より年次学術集会において医療スタッフ優秀演題賞を新設した。
- 若手研究者による糖尿病研究の推進を目的に、2011年より若手研究奨励賞（YIA）、2015年より若手研究助成金制度を設けている。

#### II. 日本医学会分科会にふさわしいと考えられる貴学会と他の分科会との連携による活動を記載してください。

- 膵臓移植地域適応検討委員会において、全国7ブロックに日本腎臓学会と合同で専門医を選出し、移植希望者の移植適応性について内科系の立場から検討している。
- 日本腎臓学会と糖尿病性腎症合同委員会を設置し、研究会を定期開催している。
- 日本医療情報学会と合同で設置した「糖尿病医療の情報化に関する合同委員会」および日本高血圧学会、日本動脈硬化学会、日本腎臓学会、日本臨床検査医学会の参加する拡大会議において、生活習慣病4疾病の「コア項目セット」「自己管理項目セット」改訂およびPersonal Health Record (PHR)推奨設定を2018年策定した。
- 日本癌学会と「糖尿病と癌に関する合同委員会」を設置し、委員会報告第2報を2016年発表した。日本癌治療学会、日本臨床腫瘍学会協力のもと、がん主治医と糖尿病専門医を対象にWebアンケート調査を2019年と2020-2021年に実施した。
- 日本肝臓学会と合同委員会を設置し、「肝臓と糖尿病・代謝研究会」を年1回定期開

催している。両学会合同の疫学研究を 2021 年論文発表した。

- 日本老年医学会と「高齢者糖尿病の診療向上のための合同委員会」を設置している。2016 年「高齢者糖尿病の血糖コントロール目標 (HbA1c 値)」を策定し、2017 年「高齢者診療ガイドライン 2017」、2018 年と 2021 年に「高齢者糖尿病治療ガイド」を発売した。
- 日本循環器学会と合同委員会を設置し、2020 年「糖代謝異常者における循環器病の診断・予防・治療に関するコンセンサスステートメント」を発表した。
- 日本肥満学会、日本肥満症治療学会と合同委員会を設置し、「日本人の肥満 2 型糖尿病患者に対する減量・代謝改善手術に関するコンセンサスステートメント」を策定し、2021 年 3 月合同シンポジウムで公表した。